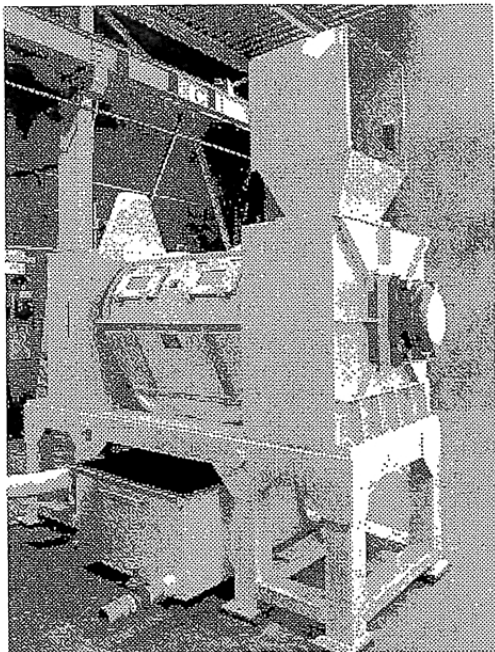


日本シーム

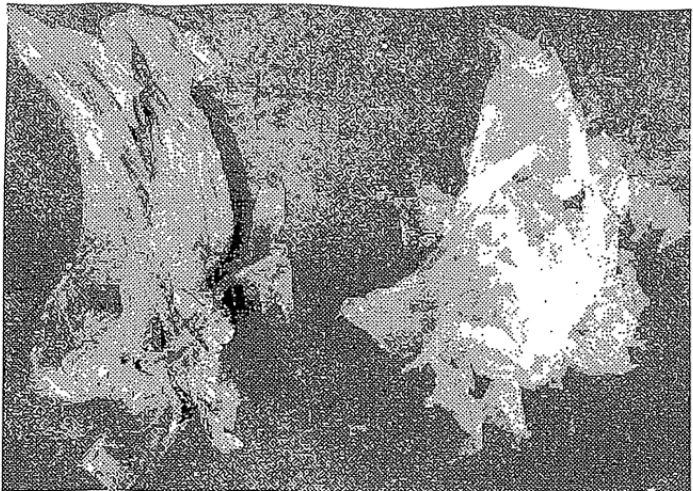
廃プラを切断、洗浄、脱水

食品残さ・汚れ・土砂付きに対応 リサイクル品質向上、コスト削減



切断式洗浄機「破！洗」

洗浄前のポリ袋と洗浄後



日本シーム(本社・埼玉県川口市、木口達也社長、☎048・298・7700)は、食品残さや汚れ、油脂、土砂が付着した軟質系廃プラスチックを切断、洗浄、異物分離、脱水まで一貫で連続処理する切断式洗浄機「破！洗」を開発、販売を開始した。焼却処理や埋立処分するしかなかった廃プラをマテリアルリサイクルにまわすことができ、コスト削減にもつながる。PETボトルや弁当容器などの硬質プラも処理可能だ。1時間当た

り200〜500キロの処理能力を持つ「WDS-H1205」型で約1000万円。すでに1号機の納入も決まっており、初年度は10台の販売を目指す。廃プラスチック洗浄機「プラウォッシュャー」シリーズの新製品で、内容物の残りが付いた廃ポリ袋処理やリサイクル原料の品質向上などの要望に応じて開発した。

長尺物や丸めたものをそのまま投入でき、特殊な回転刃で絡みつくことなく切断する。一定の大きさに切断した廃プラに水を注ぎながら、1500rpmの高速回転ローターと5rpmで低速回転する外筒のスクリーンドラムで洗浄する。洗浄で落とし残さはスクリーンドラムの外部に付けたクリーンブラシで分離・

除去する。ドラムの後段部分で脱水までを行い、きれいなプラスチック片を回収できる。

この他に原形のままのPETボトルを選別する風力選別機や容器包装系の混合プラ粉砕物から発泡スチロールだけを回収する分離装置、硬質プラを0.5〜10ミリの径に粉砕する細粒・微粉碎機も新開発しており、多様なニーズに応える方針だ。